

令和7年度 第2回半田市地域公共交通会議 議事要旨

開催概要

開催日時	令和7年12月24日（水） 9時30分～11時00分
開催場所	半田市役所 3階 会議室 303・304
会議次第	<p>1. 開会</p> <p>2. 会長あいさつ</p> <p>3. 議事</p> <p> 《報告事項》</p> <p> (1) 地区交通 A・B 及びおでかけタクシー等の実績について</p> <p> (2) 地域間幹線事業評価票について</p> <p> (3) 地区交通 A 半田中央線及び地区交通 B 瑞穂線のバス停名称の変更について</p> <p> 《協議事項》</p> <p> (1) 地域公共交通確保維持改善（フィーダー系統確保維持補助金）及び地域公共交通計画に関する事業評価について</p> <p> (2) 広域おでかけタクシーの実証実験の実施について</p> <p> ア 広域おでかけタクシーの概要について</p> <p> イ 地区交通 A ごんくる亀崎・有脇線及び有脇・横川地区おでかけタクシーの今後について</p> <p> (3) 地区交通 B 岩滑小線の経路・停留所・ダイヤの変更案について</p> <p> (4) 花園小学校区におけるおでかけタクシーの導入について</p>
委員	<p>《参加委員》</p> <p>半田市副市長（会長）※議長欠席のため議長代理</p> <p>知多乗合株式会社 代表取締役社長</p> <p>安全タクシー株式会社 代表取締役社長</p> <p>愛知県タクシー協会 知多支部長</p> <p>国土交通省中部運輸局愛知運輸支局 首席運輸企画専門官（代理）</p> <p>名鉄知多タクシー労働組合 執行委員長</p> <p>愛知県知多建設事務所維持管理課 課長（代理）</p> <p>半田市区長連絡協議会 亀崎地区理事</p> <p> 同 乙川地区理事</p> <p> 同 半田地区理事</p> <p> 同 成岩地区理事</p> <p>半田商工会議所 専務理事</p> <p>社会福祉法人半田市社会福祉協議会 事務局長</p> <p>半田市老人クラブ連合会 会長</p> <p>特定非営利活動法人半田市観光協会 事務局長</p>

	半田市総務部長 半田市市民経済部長 半田市福祉部長 半田市議会議員 名古屋鉄道株式会社地域連携部 交通サービス担当課長（代理） 愛知県都市・交通局交通対策課 担当課長（代理） 「欠席委員」 豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 准教授（議長） 公益社団法人愛知県バス協会 専務理事 愛知県半田警察署交通課 課長
事務局	半田市建設部長 村瀬 浩之 半田市建設部都市計画課 課 長 田 中 賢 副主幹 間瀬 勝信 主 事 青木 大介 書 記 稲葉 大友
傍聴・随行者	傍聴者 3 名

議事概要

「報告事項」

1. 地区交通 A・B 及びおでかけタクシー等の実績について……資料 1

（事務局）

資料 1 に基づき説明。

（半田市区長連絡協議会 半田地区理事）

資料 1 - 3 で収支率についての言及がありましたが、収支率とはこういった指標ですか。

（事務局）

運行総経費に対する運賃収入の割合を示す指標です。

（半田市老人クラブ連合会 会長）

私は成岩東部線のバス会のメンバーなのですが、この路線は元々市民病院へ行かれる市民の足としての機能も有しておりましたが、病院の移転により 4 月から激減という現状です。11 月でようやく 28 人まで復帰しましたが、これは知多半田発の医療センターへのアクセス手段としての機能が認知されてきた結果ではないかと考えています。

一方で、瑞穂線の好調ぶりは地域の人が使っているだけでは到底達成しえない実績に見て取れますが、県の出先機関の職員が利用していたりするかなど、そのあたりの実情を教えてくださいたいです。

（事務局）

瑞穂線については令和 6 年 4 月より路線改善を実施し、そこから激増をしている状況です。委員のご指摘のとおり、県の出先機関がこの地区にはありますので、地域の方の移動

需要以外を確保できるポテンシャルは元々秘めていたかもしれませんが、それまでは一日 20 人を下回るのは当たり前というような状態でした。そういった状況の中、今の状況に至る主要なきっかけとなったのは、地元スーパーの閉店だと認識しており、この地域に普段使いできるスーパーが消滅してしまったため、大きな移動需要が生まれたものと考えています。路線改善はこれに合わせたものだったのですが、結果として駅への到達回数が増加したことによって、先ほど委員の指摘にあったような、県の出先機関等への交通手段としての利用などが掘り起こされていったものと考えています。

（国土交通省中部運輸局愛知運輸支局）

おでかけタクシーについて、登録者数と利用者数それぞれで地域ごとに乖離がありますが、利用者への周知方法と制度の対象となる人の人数に対して登録はどの程度の割合か、また地域ごとに偏りがあるかなど、把握していれば教えてください。

（事務局）

登録割合は偏りがあります。概ね、有脇地区、板山地区では 10%前後、横川地区で 5%前後となっています。広報については、市報や各地域での回覧、バス会の要望に基づいた地元説明会などを実施しています。登録者数の多い板山地域で特徴的だったのが、地域の掲示板への掲出やバス会メンバーが地域の会合等に参加した際に制度の紹介をするなども実施しており、地元説明会への参加者は 100 名を超えるような状況でした。

（国土交通省中部運輸局愛知運輸支局）

「制度を知っていて利用しない」と、「その情報にたどり着けず利用できない」ことには大きな差があると思いますので、地域での公共交通に対しての認知度を高められるような周知活動をお願いしたいと思います。

（事務局）

ご意見ありがとうございます。補足で、令和 2 年度の統計情報ではありますが、半田市の、車両を持っていない世帯割合は約 15%であることから、周知が行き渡っているかどうかはこの値が目安になると考えています。

-質疑終了-

2. 地域間幹線事業評価票について……資料 2

（事務局）

資料に基づき説明。

（愛知県都市・交通局交通対策課）

愛知県より補足です。この地域間幹線系統に位置づけられている路線が国や県から補助金をもらうには、輸送量が 15 を下回らないことが条件となります。現状問題なさそうに見えますが、年々輸送量は減少していますので、路線維持のためにも皆様やご家族様にもぜひご利用いただいて、路線維持にご協力いただければと思います。

-質疑終了-

3. 地区交通 A 半田中央線及び地区交通 B 瑞穂線のバス停名称の変更について……資料 3

(事務局)

資料に基づき説明。

(半田市市民経済部長)

ラフーズコア半田清城店の跡地で現在何かしらの建物を建設しているようですが、それとの兼ね合いは問題ありませんか。

(事務局)

問題ないことを確認済みです。

-質疑終了-

≪協議事項≫

1. 地域公共交通確保維持改善（フィーダー系統確保維持補助金）及び地域公共交通計画に関する事業評価について……資料 4

(事務局)

資料に基づき説明。

(半田市総務部長)

高校生以下無料化の実施について記載がありますが、これによる効果というのはどの程度明らかになっていますか。

(事務局)

ごんくるバスでは目立った効果は確認できておりません。一方地区交通 B では、特に瑞穂線において明らかに高校生の利用が増えていると事業者から報告を受けています。

(会長)

亀崎・有脇線の評価について、目標を下回っているのに加え、抜本的な見直しが必要とまで記述があるのに C 評価ではなく B 評価なのには理由がありますか。評価基準は何かありますか。

(事務局)

明確な評価基準はなく、判断に迷うところではありましたが、他の路線と記載内容が大きく違うにも関わらず評価に差がないという点で違和感があるのはご指摘のとおりかと思います。亀崎有脇線については評価を C 評価に修正したいと思います。

-質疑終了-

協議結果：承認（但し、亀崎・有脇線の事業評価を C 評価に修正）

2. 広域おでかけタクシーの実証実験の実施について

(1) 広域おでかけタクシーの概要について……資料5

(事務局)

資料に基づき説明。

(半田市区長連絡協議会 乙川地区理事)

地域のバス会で既に事前の説明を受けており、メンバーとしては非常に期待を寄せています。特に、既存のおでかけタクシーでの3km圏の制約がなくなる点が高評価です。北部地域でのスタートとなりますが、市内全域化の早期実現も期待します。

(会長)

タクシー需要は間違いなく増加していく可能性が高いですが、供給側は問題ないでしょうか。タクシー事業者の皆様、いかがですか。

(愛知県タクシー協会 知多支部長)

この制度の有無によらず、業界全体の課題として乗務員の確保ということがありますので、そこにもしっかり取り組んでいく必要はあります。現状でも一部のお客様に対してはお待ちいただくような場合もあるのが実情ではありますが、我々のできる範囲で協力していきたいと考えています。

(安全タクシー株式会社 代表取締役社長)

我々タクシー事業の強みというのはドア to ドアの利便性にありますが、一方でデメリットとして料金が高額という点があります。そのデメリットに対してこういった制度によって自治体からのサポートを受けられるのはありがたいことであり、タクシー業界を使っただけというのは大変嬉しく思います。業界全体では乗務員の確保という課題はありますが、利用可能時間の制限等も設けていただいている中で、市内事業者同士で協力しあいながら可能な限り協力させていただきたいと考えています。

(国土交通省中部運輸局愛知運輸支局)

おでかけタクシーの環境が拡充していくことはいいことだと思います。公共交通空白地域の解消にはタクシーを活用するというのもいい発想だと思いますが、一方で、拡大していくにあたっての他の公共交通機関へ与える影響についても、バックデータとして情報収集をお願いしたいです。

(事務局)

他の交通機関と利用者の奪い合いになるだけでは意味がないので、その点には注意しながら進めていきます。

(知多乗合株式会社 代表取締役社長)

この制度の対象エリアは、半田北部線や半田常滑線N線と運行区域が一部で重複しているかと思います。料金設定の部分で差別化し配慮していただいていると感じますが、バスも選択肢の一つとして残るように制度を展開していただきたいと思います。

-質疑終了-

協議結果：承認

(2) 地区交通 A ごんくる亀崎・有脇線及び有脇・横川地区おでかけタクシーの今後について……資料 6

(事務局)

資料に基づき説明。

(半田市区長連絡協議会 亀崎地区理事)

亀崎・有脇線のバス停は、住民の居住エリアから若干離れているために利用が少ないと考えています。バス停の改善も同時に行ったうえで、廃線について検討できませんか。

(事務局)

この路線は、導入当初はむしろ居住エリアも経路上に含むような路線でしたが、その代わりに 1 便の運行時間が非常に長いという大きな欠点がありました。その改善として、住民アンケートなどでニーズを反映した結果、大通り側を通るルートでもいいので、買い物拠点を繋ぎながら 1 便の運行時間を短くするという現在の経路になった経緯があります。

(国土交通省中部運輸局愛知運輸支局)

現在の亀崎・有脇線ユーザーが広域おでかけタクシーに利用を代えてくれるのか、廃線ならば外出をしないという選択をしてしまうのか、そのあたりの意向を拾い上げることも検討していただきたいです。

(事務局)

当然、現在バスを利用している方の意見も大事だが、バスを利用していない・できていない方の意見も重要と考えています。バスを利用いただいている方は、バスをやめますと言われても反対しやすいと思いますが、その意見だけを尊重してしまうといつまでも改善策を打ち出せなくなってしまうので、最終決定には既存ユーザーのご意見も含めて総合的に判断したいと考えています。

(半田市区長連絡協議会 成岩地区理事)

ごんくるバスを見ていると通勤や通学で使う方が多いように感じますが、広域おでかけタクシーはその時間帯は運行しないと思います。影響はないでしょうか。

(事務局)

ご指摘のとおり、その時間帯に利用している方も一定数いるので、影響がないとは言いきれません。しかし、利用者全体としては僅かな割合に留まっていることから、総合的な影響は小さいと考えています。

-質疑終了-

協議結果：承認

3. 地区交通 B 岩滑小線の経路・停留所・ダイヤの変更案について……資料 7

(事務局)

資料に基づき説明。

(愛知県知多建設事務所維持管理課)

県道に関わる箇所が多い路線ですので、道路占用等の手続きについて適切にお願いしま

す。また、廃止予定のバス停で、歩道ブロックを切除した箇所については復旧をお願いします。

（事務局）

適切に対応します。補足ですが、歩道ブロックについては、知多半島総合医療センター線が引き続き同じバス停を使用するため、復旧が必要になる箇所はないと認識しています。

（国土交通省中部運輸局愛知運輸支局）

各方面の関係者との協議状況を教えてください。問題なく事前協議は調っていますか。

（事務局）

民地への乗り入れはないので、バス停の設置に関する協議は公共への届け出のみで、問題なく対応できています。

-質疑終了-

協議結果：承認

4. 花園小学校区におけるおでかけタクシーの導入について……資料8

（事務局）

資料に基づき説明。

（半田市区長連絡協議会 成岩地区理事）

私もバス会に関わっているので経緯を補足させてください。この地域は大通り沿いでバスが走っている地域ですが、それより南側の地域、花園公園周辺については区画整理から50年近く経過しており、高齢者が多くなってきました。しかしながら住居専用地域のため買い物店などに乏しく日常生活の不便度が高い地域になってきているというところから、おでかけタクシーの導入を目指すこととなりました。

-質疑終了-

協議結果：承認

-議事終了-